

第3回審議会以降の検討経過と今後の予定

8月19日	第3回審議会	
8月23日	経営会議	
9月13日	行政報告（議会報告）	
10月 4日	教育委員会へ報告	添付1
10月 8日	一般財団法人町田市体育協会への計画（素案）への意見 とりまとめ依頼 スポーツ推進委員への計画（素案）への意見提出依頼	
10月10日	第4回策定調整会議	
10月11日	パブリック・コメント開始（11月9日までの30日間）	添付2
11月 8日	一般財団法人町田市体育協会からの回答（5団体） スポーツ推進委員からの意見提出（5名） ※一般財団法人町田市体育協会からの回答（5団体）、スポーツ推進委員からの意見提出依頼（5名）からのご意見【添付3・添付4】は概要のみ	添付3 添付4
12月17日	第4回審議会	
1月 7日	答申	
1月23日	経営会議	
2月	計画策定	
3月	公表	

10月23日、町田市教育委員会佐藤昇委員長より、次の文書の提出がありました。

町田市スポーツ推進計画素案について(回答)

1. 学校施設を活用したスポーツ事業の展開について

地域スポーツクラブのためのクラブハウス等の整備が施策として取り上げられており、この施策は学校施設内にクラブハウスをつくり、学校施設をスポーツ活動の場として積極的に活用する内容であると理解しています。

しかしながら、学校施設を利用する場合は、あくまでも学校における教育活動に支障のない範囲で行うのが原則です。事業を推進する際は、利用が可能な時間や施設の管理方法について、教育委員会と十分調整を図っていただきたい。

2. 子どものスポーツの推進について

スポーツ推進計画素案にも記載されているとおり、子どもの運動不足に伴う体力・運動能力の低下が問題となっています。

教育委員会では、学校教育において子どもが身体を動かす機会を増やすよう様々な取組を行っていますが、スポーツ推進計画においても、子どもがスポーツに親しむとともに、子どもの体力を向上させることを目的とした取組を具体化していただきたい。

3. 青少年の健全育成について

スポーツは、青少年の心身両面の健全な発達に資し、心の豊かさや生きがいを与えてくれるものです。青少年が、スポーツを通して健全に成長できるよう、青少年健全育成の考え方を、町田市スポーツ推進計画に取り入れていただきたい。

4. 生涯学習部との連携について

教育委員会では、生涯学習部においてスポーツを含めた学習情報の収集・発信を行っていますので、スポーツ関連の情報の発信にあたっては、生涯学習部と情報を共有し、連携して進めていただきたい。

5. スポーツ指導を担う人材の発掘について

小・中学生の頃にスポーツに親しむかどうか、その後の人生において、スポーツに親しむかどうかに関わってくるものと考えます。現在、市立学校におけるクラブ活動・部活動の指導者が不足しているという現状がありますので、教育委員会と連携し、小・中学生に対するスポーツ指導を担う有能・有用な人材をより多く発掘していただきたい。

『町田市スポーツ推進計画（素案）』の パブリックコメント結果について

町田市では、2009年に策定した「町田市スポーツ振興計画」の後期計画として「町田市スポーツ推進計画」の策定を進めており、計画策定にあたって参考とさせていただくため、パブリックコメントを実施し、下記の結果となりました。

1. 意見募集の期間

2013年10月11日（金）～2013年11月9日（土）

2. 意見の募集方法

- 「広報まちだ10月11日号」に概要を掲載
- 町田市ホームページに町田市スポーツ推進計画（素案）等資料を掲載
- スポーツ振興課（市役所10階）、市民相談室（市役所1階）、市政情報課（市役所1階）、各市民センター、木曽山崎・玉川学園の各コミュニティセンター、町田・南町田・鶴川の各駅前連絡所、各市立図書館、町田市民文学館、男女平等推進センター（町田市民フォーラム3階）、生涯学習センター、総合体育館、サン町田旭体育館、市立室内プール、陸上競技場、相原中央公園管理事務所での資料配布

3. 寄せられたご意見の内訳

28名から、47件のご意見をいただきました。

ご意見の内容は、次のとおりです。

意 見	件 数
地域学校開放・地域スポーツクラブについて	8件
ライフステージ別のスポーツ推進について	7件
ホームタウンチームについて	8件
野津田公園の整備について	14件
財源確保について	1件
各種スポーツの推進について	3件
スポーツ施設について	6件

パブリック・コメント要約

1. 地域学校開放・地域スポーツクラブについて(10、17ページ)	
(1) クラブハウスの整備	6件
<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ自体の設備が整っていない施設を使おうとする人は限られてしまうのでは。まずは利用団体又は利用希望団体の意見を聞くべき。 ・地域スポーツクラブの達成目標の設定について、数値目標の達成条件としてクラブハウスの整備を盛り込む必要があるのか。ハード整備先行の事業展開は慎むべき。利用団体等との連携、協力が必要。 ・クラブハウス整備の該当学校のみでの説明では不十分。 ・更衣室やシャワー設置では運動人口の増加は期待できない。 ・地域スポーツクラブの設立計画には大いに賛同だが、地域スポーツクラブ設立に向けての具体的な動きが見えない中クラブハウス建設だけが進んでゆくのは恣意的に思える。シャワー、トイレ、打合せスペース等不自由、問題を感じていない。 ・クラブハウス設置には反対。先に設備だけ作ってしまうのは納得できない。スポーツ環境整備が必要。 	
(2) 地域学校開放の予約システム導入	2件
<ul style="list-style-type: none"> ・現在は開放委員会のもとで地元地域のために働くコミュニティを形成している。インターネット抽選申し込み等の制度変更は問題が多い。 ・予約システムを導入すると話し合いなどによる対応ができなくなり、利用しにくくなる。開放を利用している団体の紹介や、気軽に参加できる運動の紹介をするのが良い。 	
2. ライフステージ別のスポーツ推進について(13ページ)	
(1) 幼児期	2件
<ul style="list-style-type: none"> ・学童保育施設にて赤ちゃん体操(マッサージ)や幼児体操、遊び場としての開放を行う。公園に工夫された遊具がなく、ボール等の使用も禁止、子どものバランス感覚を養う足場の悪い場所も少ない。「ためき山」のような遊び方ができる場所が必要。 ・勝ち負けの出る試合形式ではなく遊びに徹底することが大事。 	
(2) 学齢期	1件
<ul style="list-style-type: none"> ・先生が顧問を引き受けやすい制度による学校クラブ活動の充実。 	
(3) 青年期、壮年期	3件
<ul style="list-style-type: none"> ・身近な場所、手ぶらで参加、初心者への指導等運動経験のない人のハードルを下げる。 ・産業振興地域にスポーツ施設を整備し、地域の会社がスポーツ施設を利用する機会を創出する。 ・クラブ、サークルについて自由に意見を交換できるポータルサイトを管理運営する。家族を対象に、様々な種目の競技体験の場を定期的に開催する。 	
(4) 高齢期	1件
<ul style="list-style-type: none"> ・近所の公園等身近な場所に健康促進遊具の設置。 	
3. ホームタウンチームについて(19ページ)	
(1) 広報・告知活動の拡充	5件
<ul style="list-style-type: none"> ・FC町田ゼルビアについて、横断幕やのぼり、ポスター、ラッピングバスなどで町田市全体を蒼く染める。市民優先チケット販売や無料配布を行う。 ・ASV ペスカドーラ町田ホームゲーム時、通りに面した商店街を通るルートを推奨しフラッグなどで誘導。 ・幼稚園、保育園への出張サービス。FC 町田ゼルビアのふれあいサッカーをASVペスカドーラ町田、キヤノンイーグルスにも拡大。公費補助でチケット配布。配布の際は選手から直接お願いする。駅周辺にホームタウンチームのチームポスターやフラッグ、のぼりを常設し、雰囲気作りをする。 ・ペスカドーラ開催時に成瀬、町田両駅にホームゲーム告知ボードを設置。 ・駅前や市役所、ホームグラウンド周辺地域に、横断幕等ホームタウンチームをアピールできるものを設置、掲示。 	

(2) ゼルビアホームゲームのアクセス	1件
<ul style="list-style-type: none"> ・ホームゲームの際に、町田駅、相原駅などからシャトルバスを出す。近隣学校の校庭を駐車場として開放したり、パーク&ライドを実施する。 	
(3) 環境の整備	2件
<ul style="list-style-type: none"> ・ペスカドーラの練習場を市内に確保する。 ・同日に試合が行われる際に両方観戦することができるようFC町田ゼルビアとASVペスカドーラ町田のホームグラウンドを近くに整備する。 	
4. 野津田公園の整備について(25ページ)	
(1) 里山など自然との調和	4件
<ul style="list-style-type: none"> ・自然を開発して駐車場を拡充するのではなく、公共交通充実を中心に進めて欲しい。 ・野津田公園には他に類を見ない広さの里山部分があり、重要な役割を果たしている。里山部分の話を抜きにして野津田公園の総合的な整備はあり得ない。 ・交通の便が悪く、人口密集地から離れた野津田公園にスポーツ施設を整備することが本当に市民の要望にあっているかどうか検討すべき。 ・工事をして新たに設備を作ることは反対。 	
(2) 「推進施策5 スポーツのまちづくり」の公園整備基本計画記述	5件
<ul style="list-style-type: none"> ・24頁「第二次野津田公園整備基本計画に盛り込まれた施設整備を着実に進めます。」は、野津田懇談会で検討中であるのに施設整備を進めるような記述はおかしい。(同様の意見4件あり) 	
(3) 駐車場の整備	3件
<ul style="list-style-type: none"> ・野津田公園の駐車場不足は違法駐車による近隣住民への迷惑を誘発しかねない状況にあり、早急に解決すべき。2,500台分の設置を願う。 ・立体駐車場などみんなが止められる駐車場を有料で作るべき。 ・ゼルビアのホームゲームで、「駐車場さえあれば観戦に行ってもよい」という声が聞かれる。 	
(4) 陸上競技場使用者以外のための更衣室・シャワー等の設置	1件
<ul style="list-style-type: none"> ・特に上の原グラウンドはサッカー協会の小学部・女子部が使用することも多く不便を感じている。市外からの来園者も多い野津田公園の施設を充実してほしい。 	
(5) マレットゴルフ場の設置	1件
<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者が楽しめるマレットゴルフ場設置を望む。プログラムを作成し、この日に行けばみんなと体を動かせるという形が必要。プログラムの際はシャトルバス等が必要。 	
5. 財源確保について(27ページ)	
(1) 補助金やハコモノの整備	1件
<ul style="list-style-type: none"> ・補助金は100パーセント出るわけではなく、また維持費は100パーセント市が払い続けなければならないことを明記すべき。「はこもの」の建設はもっと慎重になってほしい。 	
6. 各種スポーツの推進について	
(1) ターゲットバードゴルフを推進	1件
<ul style="list-style-type: none"> ・相模原市では人気があり、クラブを握ったことのない人でも手軽にゴルフ気分が味わえ、何時でも何処でもできる。 	
(2) 「里山歩き」の推進	1件
<ul style="list-style-type: none"> ・町田のシンボルスポーツに育てる。野津田公園を里山歩きの聖地として市外にも積極的に発信し、町田市のイメージアップを図る。 	
(3) ワイヤーによる専用水上スキー練習場導入	1件
<ul style="list-style-type: none"> ・海のない町田市で行える数少ないマリンスポーツの一つである。 	

7. スポーツ施設について	
(1) 本町田少年サッカー場	2件
<ul style="list-style-type: none"> ・トイレが不便。 ・少年サッカー場のトイレのような、管理しているクラブチームには解決できない環境問題にこそまず取り組むべき。 	
(2) フットサル場の確保	3件
<ul style="list-style-type: none"> ・小学校、中学校の体育館でのフットサルの使用を検討してほしい。 ・総合体育館やサン町田旭体育館を市民がフットサルで利用できるようにしてほしい。 ・市民も体育館でフットサルをできるようにしてほしい。 	
(3) 次世代のための整備	1件
<ul style="list-style-type: none"> ・施設の充実を図り、トップスポーツの試合がない日にはジュニア世代の大会に活用しモチベーションを上げる。 	

11月8日、一般財団法人町田市体育協会 吉原修会長より、各団体からの意見として次の文書の提出がありました。(各団体のご意見は概要のみ抜粋)

町田市スポーツ推進計画(素案)に関する意見のとりまとめについて(回答)

標記の件について、2013年10月8日付13町文ス第610号で依頼がありましたので、加盟団体及び関連団体に意見を募集しましたところ、下記のとおり意見の応募がありましたので、報告いたします。

記

応募団体 町田市ソフトテニス連盟
町田市弓道連盟
町田市アーチェリー協会
町田市マレットゴルフ協会
町田市少年野球連盟

意見 別紙のとおり

町田市ソフトテニス連盟	<p>1.第3章2戦略3、推進施策5の(2)で、野津田公園に全天候型のテニスコートを、同一ヶ所に8面以上新設して頂くよう要望しています。</p> <p>2.第1章3(2)国の動向のなかの「スポーツ基本法」のなかで、スポーツ事故の防止といった基本的条件の整備が述べられている一方、素案ではこれを受けた記述は述べられていないように感じます。リスクマネジメント関係は本計画の中のテーマとして記述しないのでしょうか。</p> <p>3.第3章2(3)②で町田市体育協会の役割について、「行政と市民の連携を進めるための調整役」として位置づけられています。市民がイメージする体協は、町田市民のスポーツ団体を統括しその活動を推進するために、高い見識をもって市と同等に話しあえる組織であるべきと思います。</p>
町田市弓道連盟	遠的弓道(和弓)場の開設(例えば、野津田公園内)
町田市アーチェリー協会	<p>1.日体協で推進する「フェアプレイキャンペーン」を町田市として取り込んではいかがでしょうか。スポーツを通して今の子供たちに道徳的な考えを教え、育てることも必要ではないかと思います。</p> <p>2.各戦略に対する具体的スケジュールはどのようになっているのでしょうか。5年間の間、いつ何を実施して目標達成(実施率60%)するのかが見えてきません。計画にはスケジュールが必要ではないかと思います。</p>

町田市マレットゴルフ協会	<p>1.15 ページ(3)高齢者のスポーツ推進の項目について、マレットゴルフは、高齢者のみならず子供から高齢者までのスポーツで、それぞれに応じた競技大会が全国規模で展開されています。</p> <p>2.22 ページ競技スポーツの連携強化について、市民のスポーツ指導を担う人材の確保が課題です。町田市マレットゴルフ協会会員の中で 7 名が一般財団法人マレットゴルフ協会の A 級指導員資格を取得し、随時指導にあたっており、地方大会、全国大会(春の文部科学大臣杯・秋の厚生労働大臣杯)等に挑戦している現況です。</p> <p>3.25 ページ野津田公園の総合的な整備について、市のホームページで、用地としてミズキ広場と隣接の山林を候補に挙げていただいたことを知り、早速現地確認しました。マレットゴルフに格好の用地と確信しました。</p> <p>【お願い】現在のマレットゴルフプレーヤーは、大方は 65 歳以上の高齢者です。80 歳以上の高齢者も増えています。歩いて行ける近くでのスポーツを希望しています。</p>
町田市少年野球連盟	<p>町田市スポーツ推進計画(素案)の、考え方については理解できましたが 1 点疑問があります。この計画に「青少年健全育成」の文言が見当たらないことです。(国の動向のスポーツ基本法の説明時 1 回出てくるのみ)</p> <p>そこで、素案にはなくとも考え方として、スポーツを「する」「みる」「支える」を具体化するに当たり、「青少年健全育成」の面を十分に考慮に入れた計画の立案をお願いします。</p> <p>実際、市の計画立案・実施に当たり、我々「青少年健全育成」に携わる者として、直近に見てきた町田市の進め方には、疑問符を付けたいことが少なからずあるので心配しています。一番の不安な点は、現場の事をあまり理解せず(意見を聞かず)に進めていることが多いと感じることです。</p> <p>又、少年スポーツに対して市はもっと積極的に支援をしても良いのではないのでしょうか。官民が一緒になって子供の成長を見守る体制も必要ではないでしょうか。我々少年野球連盟の運営資金のほとんどは、市からいただいています。従って、私たちは市から「委託」されて少年野球をやっていると考えています。その意味でもお互いの意思疎通をもう少し密にしていってよいのではと思います。</p> <p>最後をお願いしたいことは、子供たちの健やかな成長に寄与する「素晴らしい指導者を育成する」ことを計画に入れていただきたいことです。</p>

以上

スポーツ推進委員より、各団体からの意見として次の文書の提出がありました。(各推進委員のご意見の概要を章ごとに再整理しました。)

第1章	—
第2章	<p>■「達成目標2. 多くの地域スポーツクラブが活動しています。」について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・南成瀬小に地域スポーツクラブの設置を反対する署名活動の依頼があった。住民の皆さんへの説明不足と市民の為の施策が不用と考える方々が多いという現状で事業を進めていくのは疑問。 <p>■「達成目標3. 多くの市民がホームタウンチームを応援しています。」について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目標値ではあるものの、17万人とは大変な数字と思う。交通アクセス、駐車場、競技場から町田市内方面右折信号の時短による渋滞等、不便との話はよく耳にする。バックアップ態勢とともに、チームの上位進出の努力も不可欠。強ければ自然に来場者は増加すると思う。
第3章	<p>■P12「(3)の③ スポーツ推進委員の役割」について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ推進委員の役割として今後、クラブに関わっていくということか？ ・計画・設立・運営に同推進委員が関わるか？推進委員会で勉強会・話し合い等地域スポーツクラブのあり方の熟知が必要である。 <p>■P12「(4)モデル事業の実施」について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域スポーツクラブの運営についてはまだまだ、検討の余地、課題が山積していると考えられる。 <p>■スポーツ推進委員の役割について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・『スポーツ基本法』において、スポーツ推進委員が位置付けられ、スポーツ振興のコーディネーターとしてもっと幅広いものと思っている。 <p>■スポーツ推進施策について</p> <p>(戦略1)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町田市で屋内競技スポーツを継続するには、公共施設の抽選で権利を得て利用するか、施設の開放日に朝早く並んで利用する方法しかないが、もう一つの方法がまかり通っている。学校開放制度には既得権が存在し、複数のチーム名を使った同一クラブが朝・昼・夜と何十年も使用している。通常のルールに従ったものは有料で、既得権は無料。早急の見直しが必要。 ・公共施設の開催教室参加者以外の高齢者で、家に閉じこもりがちな方に、地域ごとに、学校開放施設の利用を呼びかけ、どのように高齢者に運動の場を提供するかが今後の課題である。 ・5つのライフステージ別(幼児期、学齢期、青年期、壮年期、高齢期)のスポーツ推進施策は、すみわけを明確にしながらできる範囲と内容を徐々に実行しなければ計画倒れになりそうな気がする。問題を抱えながらも成果を上げている「スポーツにチャレンジ！」や「まち

スポプロジェクト」を継続して、計画の目的達成の一事業として取り上げていただきたい。さらには、こども広場や学校開放施設の活用も充分視野に入れて活動したいと思う。

- ・「町田市地域スポーツクラブ設立及び運営事業補助金交付要綱」と「町田市地域スポーツクラブ支援事業実施要綱」の設置について、スポーツ関係者へのPRが不足している。
- ・市民スポーツの普及・推進には、ニュースポーツを通じて、健常者と障がい者が交流できる場の整備やイベントに取り組むべき。
- ・スポーツ関連団体との連携強化[(1)団体主催事業(競技大会、等)のPR支援、他団体・各関連組織への観戦等の支援要請、(2)団体事業拡大のための共労(相談・アドバイス・支援)、(3)団体との緊密な情報交換の実施、(4)団体主催事業への参加(主管・後援団体として)、(5)外部講習会参加機会の提供、(6)各種講習会の主催による活性化支援、危機管理(事故未然防止対策方法、体操、テーピング、応急処置、心肺蘇生、等)、(7)スポーツ保険関連の充実、支援)]
- ・学校クラブ活動・地域スポーツ活動、等へのスポーツ指導員派遣
- ・地域市民への体力増進活動支援[(1)市内各地域での体力測定実施、(2)コンビネーショントレーニング、等、若年層から高齢者層までを対象とした体づくり講習会の実施、(3)ニュースポーツの紹介、等によるスポーツへの興味心喚起]
- ・地域スポーツクラブ発足の推進策検討[Ex:モデル地区・競技を特定し試行⇒改善を加味し発足⇒水平展開]

(戦略2)

- ・これまでは「スポーツアワードまちだ」で関係者のみで顕彰などを行っているが、もっと広く一般のスポーツ愛好者にも関心をもってもらうためには、町田市体育協会主催の「スポーツ祭まちだ」で行えば効果は大きいのではないか。
- ・国際競技大会・全国大会などトップ競技者の活用する施設利用と一般の愛好者利用とのすみわけを早急にしていきたい。

(戦略5)

- ・野津田公園の総合的な整備については、早急にスポーツ関係団体及び地域住民や自然保護団体など関係機関との協議のうえ施設整備計画(年度計画)を策定し、すすめる必要があると思います。(クラブハウスの建設も同様)。
- ・環境整備[(1)都道府県規模の競技大会が開催できる施設の整備、(2)地域市民に密着したスポーツ関連情報収集、及び発信拠点の設立、(3)教育委員会、学校教育部、生涯学習部、いきいき健康部、こども生活部、地域福祉部、自治会組織、他との連携によるスポーツ活動支援、(4)スポーツ指導員の充実、(5)大学機関との連携、(6)自主財源の捻出]
- ・総合体育館、旭体育館で行われている公開指導、開放等に広く一般市民が参加できるように情報発信力の強化・PR活動が必要。
- ・情報発信の強化[(1)行政施設、商店街、学校施設での各団体事業のポスター掲示、(2)商店街地域でのイベント活動を活用した団体PR、Ex:献血、AEDデモ、ニュースポーツデモ等、(3)スポーツ情報ホームページの充実]

第4章	<p>■財源の確保について</p> <p>・事業の性格にもよるが、積極的な企業協賛(協賛金・現物提供など)を導入すべきと思う。</p>
その他	<p>■東京オリンピックについて</p> <p>・町田市においても、世の中の流れから遅れない様にかつ慎重に関係する事業について早急に対応する体制づくりが必要。</p> <p>■徹底的な現状把握</p> <p>・現在、町田市内でいろいろな団体が各地域で行なっているスポーツ関連活動の「内容」「参加人員」「期待効果」の実態調査をすることにより現状把握を徹底的におこなう。</p> <p>■付加価値の創出</p> <p>・推進計画として新しい施策を立案すると同時に、現在既に実施されている活動等のコラボレーションにより付加価値を見出すプログラムを検討する。</p> <p>■プロダクトアウトからマーケットインへ</p> <p>・ユーザーニーズに対応した実施計画を立案するために、計画段階からニーズが反映でき得る仕組み創りをおこなう。</p>